

【検討会設置趣旨】

- これからのまちづくりに対応した都市公園政策のあり方に関しては、「新たな時代の都市マネジメントに対応した都市公園等のあり方検討会(座長:進士五十八福井県立大学学長)」において、①ストック効果をより高める、②民との連携を加速する、③都市公園を一層柔軟に使いこなす、が三つの重視すべき観点としてとりまとめられたことを踏まえ、平成29年の都市公園法改正により公募設置管理制度(Park-PFI)や協議会制度等、都市公園に関する新たな制度が創設された。
- 法改正から4年が経過した現在、都市公園でのPark-PFIや保育所の設置等、多様な主体の連携により都市公園のハード面の充実を図る制度の活用は一定程度進み、先進的・効果的な事例もある一方で、より柔軟に都市公園を使いこなすための公園の管理運営に関しては、依然として課題があるとともに、デジタル化の急速な進展や新型コロナウイルス感染症の拡大を契機としたニューノーマル社会への対応など、社会経済状況の変化を踏まえた公園の新たな役割への対応も求められている。
- このことから、都市公園の柔軟な管理運営のあり方に焦点を当て、取組の方向性をとりまとめることとする。

【検討会委員】(敬称略)

委員長	蓑茂 寿太郎	東京農業大学 名誉教授
委員	秋田 典子	千葉大学 園芸学研究院 教授
委員	坂井 文	東京都市大学 都市生活学部 教授
委員	佐藤 留美	NPO法人Green Connection TOKYO 代表理事
委員	出口 敦	東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授
委員	榑野 良明	中央大学研究開発機構 機構教授(客員研究員)
委員	涌井 史郎	東京都市大学環境情報学部 教授
委員	根来 千秋	東京都建設局公園緑地部 公園計画担当部長
委員	阿久津 正典	豊田市都市整備部 部長
委員	広脇 淳	神戸市建設局 公園担当局長

【今後のスケジュール】

- 第1回 2月14日(月) 10:30~12:30
- 第2回 3月 1日(火) 15:30~17:30
- 第3回 3月14日(月) 10:30~12:30

- 令和3年度中に3回開催。各論点について、話題提供を含めて、課題整理。
- 令和4年度以降、月1回程度のペースで課題ごとの対応方針を検討、夏から秋にかけてとりまとめを行い、制度改正や事業づくりに反映。

検討スケジュール（案）

	1:誰もが快適に過ごせる公園管理のあり方		2:民が担う公の役割を踏まえた公園運営のあり方		3:まちの活力を支える発展的な公園利用のあり方	
	①公園の利用ルールの多様化	②公園における安全・安心の確保	③管理運営の担い手の拡大	④管理運営のインセンティブ	⑤社会実験施設設置のルール	⑥公園におけるデジタル化の促進
第1回 2月14日	<p>・前回検討会のレビューと前回以降の状況変化 ・論点提示(フリートーキング)</p>					
第2回 3月1日 ゲストスピーカーから話題提供後、議論	①NPO birth 事務局次長／協働・コーディネーター部長 磯脇 桃子氏【公園管理実務者】		②神奈川県都市公園課長 森尻 雅樹氏 横浜市環境創造局公園緑地部長 藤田 辰一郎氏【公園管理者(県、市)】		③東北芸術工科大学教授 馬場 正尊氏【公共空間での社会実験に係る有識者】	
第3回 3月14日 ゲストスピーカーから話題提供後	②(一社)みんなの公園愛護会代表 柁田 里佳氏【公園愛護会関係者】		①調整中【公園管理に携わる民間事業者】 ③株式会社日本総合研究所プリンシパル 東 博暢氏【公共空間でのデジタル技術の活用に係る有識者】			
第4回 5月頃	<p>・第3回までの議論を踏まえ、各項目の対応方針を検討</p>					
第5回 6月頃	<p>○引き続き、各項目の対応方針を検討</p>					
第6回 7月頃	<p>○取りまとめ素案の検討</p>					
第7回 8月頃	<p>○取りまとめ案</p>					